

WHO ファクトシート

失明と視力障害

Blindness and vision impairment

2018年10月11日

重要な事実

- ・世界ではおよそ13億人の人々が何らかの形で視力障害を持っていると推定される。
- ・遠見視力に関しては、1億8850万人が軽度の視力障害を有し、2億1700万人が中等度から重度の視力障害を有し、3600万人が失明している（1）。
- ・近見視力に関しては、8億2600万人が近見視力障害を持っている（2）。
- ・全世界の視力障害のおよそ80%は回避可能と考えられる。
- ・視力障害を持つ人々の大半は50歳以上である。

参考文献

- (1) Bourne RRA, Flaxman SR, Braithwaite T, Cicinelli MV, Das A, Jonas JB, et al.; Vision Loss Expert Group. Magnitude, temporal trends, and projections of the global prevalence of blindness and distance and near vision impairment: a systematic review and meta-analysis. *Lancet Glob Health*. 2017 Sep;5(9):e888–97.
- (2) Fricke, TR, Tahhan N, Resnikoff S, Papas E, Burnett A, Suit MH, Naduvilath T, Naidoo K, Global Prevalence of Presbyopia and Vision Impairment from Uncorrected Presbyopia: Systematic Review, Meta-analysis, and Modelling, *Ophthalmology*. 2018 May 9

© World Health Organization

この文章は、日本WHO協会がWHOのメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月にWHO本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含めWHOホームページでの原文をご確認ください。

Blindness and vision impairment 詳細は [WHO のページ \(英文\) へ](#)